
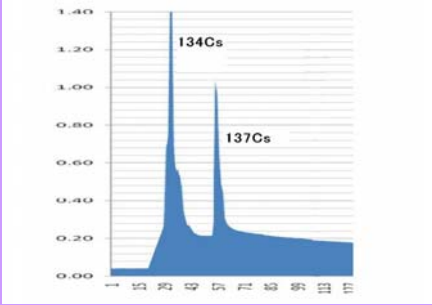




「食品中の放射性物質検査」のご案内

牛肉、新米、魚介類の安全確認
自主検査のニーズに対応すべく
10月1日受付より検査受託開始

弊社では、放射性ヨウ素、放射性セシウムの放射性物質の分析に優れたNaI (TI)シンチレーションスペクトロメーターによる定量分析を行っています。国内流通品の農産物、魚介類などの食品等の安全性確認のため迅速な結果報告に対応いたしますので、お気軽にご相談下さい。

検査測定装置	  <p>PerkinElmer2480 WIZARD2 ガンマ カウンター</p> <p>Cs のスペクトラム分析</p>
検査方法	NaI (TI) シンチレーション検出器(3×3 インチ)を用いたガンマ線スペクトロメトリー法 平成23年7月29日 厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課通知による分析方法
検査対象品	農産物、畜産物、水産物等ならびに加工品、飲料水、飼料類など
受託できないもの	*工業製品、環境物質(土壌、貯留水、排水、焼却灰、汚泥等)は検査受託しません
測定項目	放射性ヨウ素 131 (¹³¹ I), 放射性セシウム 134 (¹³⁴ Cs), 放射性セシウム 137 (¹³⁷ Cs)
定量下限値	放射性ヨウ素 25Bq/kg 放射性セシウム 25Bq/kg
検査必要量	最低検体量は 50g もしくは 50ml 以上より検査実施可能
検査料金	定量試験分析 検査前処理が不要なもの 1検体 8,500円 (外税) 検査前処理を必要とするもの 1検体 12,000円 (外税) *検査前処理の例 : 魚→三枚卸で中骨を取る。 : 果実→種を取り除く、皮を剥く。
検査報告	受付後 1~3 営業日で結果をご連絡します
検体送付先 (依頼書同封)	〒350-1101 埼玉県川越市の場 1491 株式会社 BML フード・サイエンス 諸富 宛 依頼時に事前連絡と依頼書に必要事項を記入して検査品とともに送ってください。 *依頼書は弊社ホームページよりダウンロードできますのでご利用ください。
検査後の検体	基準値を超える検査検体に関しては、着払いで検査発送元にご返却いたします。
備考	*本装置は、厚生労働省の通知法で紹介されているものであり、短時間で大量処理に優れたものです。

お問合せ・事前連絡先 TEL : 03-5988-0214 FAX : 03-5988-0259 担当 : 井上、南
弊社ホームページ (<http://www.bfss.co.jp/>) をご覧ください。

株式会社 BMLフード・サイエンス

本 社 : 〒161-0031 東京都新宿区西落合 2-12-14

埼玉検査センター: 〒350-1101 埼玉県川越市の場 1491

☎03-5988-0218

☎049-239-5380

FAX 03-5988-0259

FAX 049-239-5372

